

**第 22 回 SGRA カフェ**  
**「逆境を超えて：パレスチナの文化的アイデンティティ」**  
**アンケート集計**

参加登録者：74 名

居住地：日本 70 中国 1 韓国 1 タイ 1 イギリス 1

アンケート回答者：17 名

**1. 今回のイベントを何でお知りになりましたか。**

SGRAかわらばん 3

先生・知人・友人の誘い 5

その他のメーリングリスト 5

SNS (Facebook 等) 2

その他 2

**2. このイベントのご感想・主催者に伝えたいこと等ご自由にお書きください。**

とてもよかったです、ありがとうございました。

企画をいただきありがとうございます！

非常に有意義でした。

山本先生のお話は、とてもわかりやすく、また、パレスチナに生きる人びと、とくに若い人たちのの思いがしっかりと伝わってくる内容でした。『とるに足りない細部』は、一度読んでいましたが、山本先生の解説を得て、再読しようと思いました。特に 2 部をしっかりと読み込みたいと思います。

本当にありがとうございました。

ラップには今迄余り注目してこなかったが、これを機に追い掛けてみたい。また、演劇は結構観ているので今後も注目し続けてゆくことは無論で、演劇のフットワークの軽さは、演劇でしか表現できない一回性にあると考える。

パレスチナ問題の根底を文化の面から解説いただいた素晴らしい講演でした。特にイスラエルの国籍（市民権？）を持つ人たちが主たる文化活動を行い、世界に発信しているというのは、に興味を覚えました。国籍（市民

権?)を持たないパレス人たちとの間に横たわる問題はないのか、破壊された Religious Shrines が 3 とありましたが、シナゴグ、モスク、カトリックまプロテスタント教会なのか知りたかったです。

パレスチナの文化について知らなかったことが知れてとてもよかったです。特にパルクールについて知らなかったので、本当に追い詰められた中で最後に持ちうる自分の体を精一杯使って表現するという行為に非常に感銘を受けました。

たまたま直近でのメーリングリストで今回のご講演を知りました。とてもわかりやすく興味深かったです。前回の分は拝聴できず残念ですが後の刊行物を楽しみにしています。また宣伝で誠に恐縮ですが、パレスチナの分離壁をテーマとした絵本『もし ぼくが鳥だったら』が現在クラウドファンディング中です。詳しくはこちら → <https://camp-fire>. 多くの方にご関心を寄せていただければと思います。

パレスチナの略史から始まり、翻訳された小説の背景など、とてもわかりやすく、勉強になりました。

パレスチナ人は国を持たないからこそ政治的に制約がない自由な表現ができるというお話が印象的でした。政治情勢だけを見ればパレスチナを取り巻く環境は絶望的に思えても、芸術面の豊かさは対話の可能性を拓くものとして希望に感じられました。拙い質問に対してもご回答くださりありがとうございました。

アートでの抵抗や自己表現についてのご紹介が非常に興味深かったです。ご紹介のアーティストの方々はパレスチナ系のイスラエル出身の方が多とのことでしたが、そこに文化資本的な影響がどの程度あるのかも気になりました。

本日は大変勉強になるセミナー企画、どうもありがとうございました。特にパルクールが印象的でした。瓦礫や破壊された建物を表現の場とする自由と創造性は、困難を乗り越える象徴のようです。パレスチナの若者たちの平和的な抵抗の形だと感じました。日本でもパレスチナの文化的素晴らしさが広く知られることを願っています。

アートの力やイスラエル領に残留しているパレスチナ人の存在などのお話を伺い、国民国家システムによって引かれる境界線と人々の生活や文化との乖離について、視点が広がりました。日本に残留している朝鮮半島出身者やベトナムやクルド人難民への日本人の態度と重なるところもあり、考えが深まりました。

### 3. パレスチナについてのイベントを今後開催したら、どのような話題に関心はありますか？

パレスチナの女性によるアクティビズム（解放のための運動だけではなく女性の権利に関するものなど）についてパレスチナの人々の生活、日常について知りたいです。

例えば、いつ どのように どうやって 間もなく 1 年を迎える以巴(&近隣アラブ国々)戦争が終了できるか等。。

シオニストはアメリカを手本にしてきた。アメリカのネイティブアメリカン抹殺史とパレスチナの被って来た悲劇は重なる

部分が多い。この比較。

キリスト教、ユダヤ教、回教と3つの宗教から見たパレスチナ・イスラエルの状況をお聞き出来たら嬉しいです。

今回紹介して下さった映画や書籍、芸術活動の紹介。またはパレスチナとイスラエルのアーティストと一緒に何かやっているような活動があれば知りたい

現在の人々の暮らし、そして歴史的な人々の等身大の暮らしについて、具体的に知りたいです。またパレスチナに同情的だったアラブ諸国の対応の変化と、それに対するパレスチナの方々の考えにも関心があります。

48 borders について

司会者の方が「アラブ人とはなにか」という問いを立てていらっしゃった点、もっとうかがいたかったです。

イスラエル国籍のパレスチナ人による芸術活動 パレスチナだけでなくレバノン・シリアの文化についても学べるイベントがあれば嬉しいです。

ナーブルスの石鹼、パレスチナ刺繍やベツレヘムパールの文化的背景、どれも素晴らしいものですが、日本では知られていないことが多いです。ぜひ、知ることができる機会を作って頂きたいです。